

No	20	分類	2-(2)-ア	資料名	わたしたちが主役	学年	6年	領域	社会
----	----	----	---------	-----	----------	----	----	----	----

1 ねらい

- 差別の解消につくした先人の取組について理解を深めるとともに、人権の世紀と言われる21世紀の主役として、差別の解消に向けて主体的・中立的に取り組もうとする意欲を培う。

2 趣旨

- 本資料は、父親が参加している町の人権セミナーの人権資料館見学に参加した主人公が、部落差別解消の取組に関する歴史理解を深めるとともに、さまざまな人権課題に気づき、自分たちが次代の民主的で明るい社会を実現していく主役であることを感じる場面が描いてある。
- 個別の人権課題への学習を行うことは、その問題の解決にとどまらず、身近ないじめなど、ほかの人権課題の存在にも気づき、その解決につながることを認識させたい。
- 同和問題をはじめとするさまざまな人権課題に関する学習の小学校におけるまとめとして本資料を活用し、中学校での学習へとつなげていきたい。

3 指導計画

- 事前準備…地域の事態に即し、社会科学習において部落差別の歴史的認識を深めておく。必要に応じて『人の世に熱あれ、人間に光あれ』（ともだち）を活用する。
- 事後指導…地域をみつめる学習や人権課題をテーマとする学習（総合的な学習の時間、社会科等）との連携を図り、自分や地域の課題と関連づけながら総合的な学習へと発展させたい。

4 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
1 本文を読んで、分からない言葉や疑問に思うことを出し合い、分かる人が説明をする。 ・身分制度 ・うったえ状 ・全国水平社 ・部落差別 など	・同和問題等にかかる質問、疑問については、十分な時間をとり、理解が得られるまで、教師が説明をする。
2 身の回りの人権課題について考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">私たちの身の回りには、どのような人権課題があるでしょう。</div> ・子ども（いじめ、児童虐待など） ・障害者 ・女性 ・高齢者 など ○ 「人権にかかわる記念日等」のプリントから自分たちがどれくらい知っているかを考える。	・児童から出ない人権課題については補足する。 ・人権課題の解決に向けて、世界でさまざまな取組が行われていること、また、その取組が課題の解決につながっていることを認識させる。
3 自分の町の取組を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">人権課題の解決のために自分たちの町ではどんな取組をしているでしょう。</div> ・人権週間での取組 ・人権講座 ・講演会 ・広報誌の作成	・市町の広報誌等も紹介しながら、自分たちの町にもさまざまな取組があることに気づかせ、参加の体験談があれば語らせる。 ・町の活動に自分も少しでも参加していこうとする意識をもたせる。
4 まとめを聞く。	・中学校において、あるいは社会に出てから、いろいろな人権課題に関心を持ち、考え、解決に向けて行動してほしいということを伝える。

5 参考

- 参考資料として、本活用の手引きに、同和問題に関する参考資料（P.26、P.27）、各人権課題（P.34、P.35）、「人権にかかわる記念日等」（P.40）を掲載している。